

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公表番号】特表2010-509233(P2010-509233A)

【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-535482(P2009-535482)

【国際特許分類】

C 07 D 251/70	(2006.01)
A 61 K 31/53	(2006.01)
A 61 K 31/55	(2006.01)
A 61 P 9/12	(2006.01)
A 61 P 9/04	(2006.01)
A 61 P 13/12	(2006.01)
A 61 P 1/16	(2006.01)
A 61 P 9/00	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 9/08	(2006.01)
A 61 P 15/10	(2006.01)
A 61 P 27/02	(2006.01)
A 61 P 3/06	(2006.01)
A 61 P 3/10	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 13/10	(2006.01)
A 61 P 11/06	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)

【F I】

C 07 D 251/70	C S P E
A 61 K 31/53	
A 61 K 31/55	
A 61 P 9/12	
A 61 P 9/04	
A 61 P 13/12	
A 61 P 1/16	
A 61 P 9/00	
A 61 P 9/10	1 0 3
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 9/08	
A 61 P 15/10	
A 61 P 27/02	
A 61 P 3/06	
A 61 P 3/10	
A 61 P 29/00	
A 61 P 19/02	
A 61 P 13/10	
A 61 P 11/06	

A 6 1 P 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月9日(2010.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

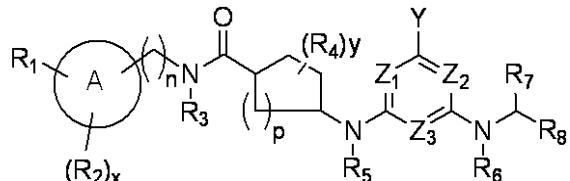
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式 I :

【化1】



式 I

〔式中、

【化2】



は、6員のアリールまたはヘテロアリール環であり；

R_1 は、水素、 $C O_2 H$ 、 $C O_2(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $C O N R' R''$ （ここで、 R' および R'' は、各々独立して、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルである）、アラルキル、ヘテロアラルキル、 $-(C_2 \sim C_{10})$ アルキレン- $N R' R''$ 、 $-(C_2 \sim C_{10})$ アルキレン- $O R'$ 、および $-O-(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $-S-(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）；

各 R_2 は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $-O-(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $-S-(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）；

 n は、0または1であり； x は、0、1または2であり； R_3 は、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり； p は、0、1、2または3であり；

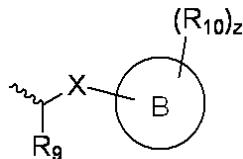
各 R_4 は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、または $-O-(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $-S-(C_1 \sim C_6)$ アルキルである（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）か、または結合している炭素と一緒にになって $C=O$ を形成し；

 y は、0、1または2であり； R_5 は、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり； R_6 は、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり； R_7 は、水素、ハロまたは $(C_1 \sim C_6)$ アルキルであるか；または

R_6 および R_7 は、それらが結合している原子と一緒にになって、炭素上にてハロ、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、および $-O-(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $-S-(C_1 \sim C_6)$ アルキル（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）から選択される1、2ま

たは 3 個の基で置換されていてもよい 3 ~ 10 員環を形成するか、または結合している炭素と一緒にになって C = O を形成し；

R₈ は、水素、ハロ、もしくは(C₁ ~ C₆)アルキルであるか、または
【化 3】



であり、ここで、

【化 4】

「~~~」

は、結合の位置を示し、ここで、

R₉ は、水素、ハロ、または(C₁ ~ C₆)アルキルであり；

X は、存在しないか、または、O、S(O)_m(ここで、m は、0、1 または 2 である)、-CH₂-S-、-CH₂-O-、-CH₂-NH-、または-CH₂-N(C₁ ~ C₆)アルキル-であり；

【化 5】



は、(C₃ ~ C₆)シクロアルキル、(C₃ ~ C₆)ヘテロシクロアルキル、アリール、またはヘテロアリールであり；

各 R₁₀ は、存在する場合には、独立して、ハロ、(C₁ ~ C₆)アルキル、-O-(C₁ ~ C₆)アルキル、-S-(C₁ ~ C₆)アルキルである（これらは、炭素上にて 1、2 または 3 個のハロで置換されていてもよい）か、または結合している炭素と一緒にになって C = O を形成し；

z は、0、1 または 2 であり；

Z₁、Z₂ および Z₃ のうち少なくとも 1 つは N であり、残りは C - R_b であり、ここで、R_b は、水素、ハロゲン、(C₁ ~ C₆)アルキル、または(C₁ ~ C₆)アルコキシであり；

Y は、H、ハロ、OR₁₁、またはNR₁₁R₁₂ であり；

R₁₁ は、水素または(C₁ ~ C₆)アルキルであり；

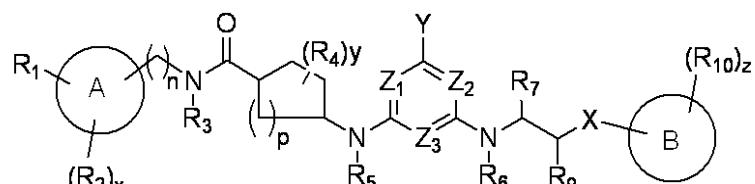
R₁₂ は、水素、(C₁ ~ C₆)アルキル、アリール、アラルキル、(C₃ ~ C₆)シクロアルキル、-アルキレン-(C₃ ~ C₆)シクロアルキル、(C₃ ~ C₆)ヘテロシクロアルキル、-アルキレン-(C₃ ~ C₆)ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルである（これらは、炭素上にてハロ、(C₁ ~ C₆)アルキル、-O-(C₁ ~ C₆)アルキル、-S-(C₁ ~ C₆)アルキルから選択される 1 または 2 個の基で置換されていてもよい）】

で示される化合物またはその医薬上許容される塩。

【請求項 2】

式 I I :

【化 6】



[式中、

【化7】

(A)

は、6員のアリールまたはヘテロアリール環であり；

R_1 は、水素、 CO_2H 、 $\text{CO}_2(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $\text{CONR}'\text{R}''$ （ここで、 R' および R'' は、各々独立して、水素または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルである）、アラルキル、ヘテロアラルキル、 $-(\text{C}_2 \sim \text{C}_{10})$ アルキレン- $\text{NR}'\text{R}''$ 、 $-(\text{C}_2 \sim \text{C}_{10})$ アルキレン- OR' 、および $-\text{O}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{S}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）；

各 R_2 は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{O}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{S}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）；

n は、0または1であり；

x は、0、1または2であり；

R_3 は、水素または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり；

p は、0、1、2または3であり；

各 R_4 は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、または $-\text{O}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{S}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルである（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）か、または結合している炭素と一緒にになって $\text{C}=\text{O}$ を形成し；

y は、0、1または2であり；

R_5 は、水素または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり；

R_6 は、水素または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり；

R_7 は、水素、ハロまたは $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり；

R_9 は、水素、ハロまたは $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり；

X は、存在しないか、または、 O 、 S(O)_m （ここで、 m は0、1または2である）、 $-\text{CH}_2-\text{S}-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{O}-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{NH}-$ 、または $-\text{CH}_2-\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル-であり；

【化8】

(B)

は、 $(\text{C}_3 \sim \text{C}_6)$ シクロアルキル、 $(\text{C}_3 \sim \text{C}_6)$ ヘテロシクロアルキル、アリール、またはヘテロアリールであり；

各 R_{10} は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{O}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{S}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルである（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）か、または結合している炭素と一緒にになって $\text{C}=\text{O}$ を形成し；

z は、0、1または2であり；

Z_1 、 Z_2 および Z_3 のうち少なくとも1つはNであり、残りは $\text{C}-\text{R}_b$ であり（ここで、 R_b は、水素、ハロゲン、 $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルコキシである）；

Y は、 H 、ハロ、 OR_{11} 、または $\text{NR}_{11}\text{R}_{12}$ であり；

R_{11} は、水素または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルであり；

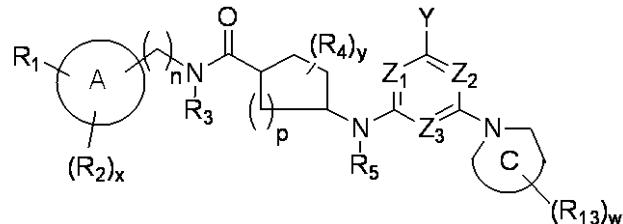
R_{12} は、水素、 $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、アリール、アラルキル、 $(\text{C}_3 \sim \text{C}_6)$ シクロアルキル、 $-\text{アルキレン}-(\text{C}_3 \sim \text{C}_6)$ シクロアルキル、 $(\text{C}_3 \sim \text{C}_6)$ ヘテロシクロアルキル、 $-\text{アルキレン}-(\text{C}_3 \sim \text{C}_6)$ ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルである（これらは、炭素上にてハロ、 $(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{O}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキル、 $-\text{S}-(\text{C}_1 \sim \text{C}_6)$ アルキルから選択される1または2個の基で置換されていてもよい）】

で示される化合物またはその医薬上許容される塩。

【請求項 3】

式 I I I :

【化 9】



式 I I I

[式中、

【化 10】



は、6員のアリールまたはヘテロアリール環であり；

R_1 は、水素、 $C O_2 H$ 、 $C O_2(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $C O N R' R''$ （ここで、 R' および R'' は、各々独立して、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルである）、アラルキル、ヘテロアラルキル、 $- (C_2 \sim C_{10})$ アルキレン- $N R' R''$ 、 $- (C_2 \sim C_{10})$ アルキレン- $O R'$ 、および $- O - (C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $- S - (C_1 \sim C_6)$ アルキルであり（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）；

各 R_2 は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $- O - (C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $- S - (C_1 \sim C_6)$ アルキルであり（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）；

n は、0または1であり；

x は、0、1または2であり；

R_3 は、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり；

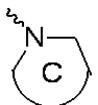
p は、0、1、2または3であり；

各 R_4 は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、または $- O - (C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $- S - (C_1 \sim C_6)$ アルキルである（これらは、炭素上にて1、2または3個のハロで置換されていてもよい）か、または結合している炭素と一緒にになって $C = O$ を形成し；

y は、0、1または2であり；

R_5 は、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルであり；

【化 11】



は、 O 、 $S(O)_m$ （ここで、 m は0、1または2である）、または $N R'''$ （ここで、 R''' は、水素または $(C_1 \sim C_6)$ アルキルである）から選択されるヘテロ原子1個をさらに含有していてもよい3~10員環であり、ここで、

【化 12】

「~~~」

は、結合の位置を示し；

各 R_{13} は、存在する場合には、独立して、ハロ、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、または $- O - (C_1 \sim C_6)$ アルキル、 $- S - (C_1 \sim C_6)$ アルキルである（これらは、炭素上にて1、2ま

たは3個のハロで置換されていてもよい)か、または結合している炭素と一緒にになってC=Oを形成し;

wは、0、1または2であり;

Yは、H、ハロ、OR₁₁、またはNR₁₁R₁₂であり;

R₁₁は、水素または(C₁~C₆)アルキルであり;

R₁₂は、水素、(C₁~C₆)アルキル、アリール、アラルキル、(C₃~C₆)シクロアルキル、-アルキレン-(C₃~C₆)シクロアルキル、(C₃~C₆)ヘテロシクロアルキル、-アルキレン-(C₃~C₆)ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルである(これらは、炭素上にてハロ、(C₁~C₆)アルキル、-O-(C₁~C₆)アルキル、-S-(C₁~C₆)アルキルから選択される1または2個の基で置換されていてもよい)]で示される化合物またはその医薬上許容される塩。

【請求項4】

以下から選択される化合物:

シス-N-[(2,4-ジクロロフェニル)メチル]-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド;

シス-N-[(2-フルオロフェニル)メチル]-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

シス-N-[(3,4-ジフルオロフェニル)メチル]-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

シス-N-シクロヘキシリル-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

シス-N-(シクロヘキシリルメチル)-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

シス-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}-N-{[2-(トリフルオロメチル)フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

シス-N-[(2-クロロフェニル)メチル]-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

シス-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}-N-({[2-[(トリフルオロメチル)オキシ]フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

トランス-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}-N-{[2-(トリフルオロメチル)フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・トリフルオロ酢酸塩;

トランス-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}-N-({[2-[(トリフルオロメチル)オキシ]フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・トリフルオロ酢酸塩;

トランス-N-[(2,4-ジクロロフェニル)メチル]-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・トリフルオロ酢酸塩;

N-[(3,4-ジフルオロフェニル)メチル]-3-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩;

N-(シクロヘキシリルメチル)-3-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピ

ペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩；

3 - {[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ} - N - {[2 - (トリフルオロメチル)フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩；

N - [(2 - クロロフェニル)メチル] - 3 - {[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩；

N - [(2 - フルオロフェニル)メチル] - 3 - {[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩；

3 - {[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ} - N - ({2 - [(トリフルオロメチル)オキシ]フェニル}メチル)シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩；

N - [(2 , 4 - ジクロロフェニル)メチル] - 3 - {[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド・トリフルオロ酢酸塩；

シス - N - [(2 , 4 - ジクロロフェニル)メチル] - 4 - {メチル[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ}シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス - 4 - {メチル[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ} - N - {[2 - (トリフルオロメチル)フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・トリフルオロ酢酸塩；

シス - 4 - {メチル[4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イル]アミノ} - N - ({2 - [(トリフルオロメチル)オキシ]フェニル}メチル)シクロヘキサンカルボキシアミド・トリフルオロ酢酸塩；

(1S , 4S) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ) - N - (2 - (トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ) - N - (2 - (トリフルオロメチルチオ)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ) - N - (2 - (トリフルオロメトキシ)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - N - ベンジル - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ) - N - (4 - (トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - N - (4 - フルオロベンジル) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - N - (2 - フルオロベンジル) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S , 4S) - 4 - (4 - (メチルアミノ) - 6 - ((R) - 2 - フェニルプロピルアミノ) - 1 , 3 , 5 - トリアジン - 2 - イルアミノ) - N - o - トリルシクロヘキサンカルボキシアミド；

(1R,4R)-N-ベンジル-4-(4-(メチルアミノ)-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド；

4-(((1S,4S)-4-(4-(メチルアミノ)-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド)メチル)安息香酸メチル；

4-(((1R,4R)-4-(4-(メチルアミノ)-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド)メチル)安息香酸メチル；

4-(((1S,4S)-4-(4-(メチルアミノ)-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド)メチル)安息香酸；

4-(((1R,4R)-4-(4-(メチルアミノ)-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド)メチル)安息香酸；

2-(4-(((1S,4S)-4-(4-(メチルアミノ)-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)シクロヘキサンカルボキシアミド)フェニル)酢酸；

(1S,4S)-4-(4-(メチルアミノ)-6-(ピペリジン-1-イル)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス-4-{[4-(メチルアミノ)-6-(4-メチル-1-ピペラジニル)-1,3,5-トリアジン-2-イル]アミノ}-N-{[2-(トリフルオロメチル)フェニル]メチル}シクロヘキサンカルボキシアミド・塩酸塩；

シス-4-(4-(メチルアミノ)-6-(ピロリジン-1-イル)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス-4-(4-(ベンジルアミノ)-6-(メチルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス-4-((2-(ジメチルアミノ)エチル)(メチル)アミノ)-6-(メチルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス-4-(4-(アゼパン-1-イル)-6-(メチルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメトキシ)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス-4-(4-アミノ-6-(アゼパン-1-イル)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメトキシ)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

(1S,4S)-4-(4-アミノ-6-((R)-2-フェニルプロピルアミノ)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメトキシ)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

トランス-4-(4-(メチルアミノ)-6-(4-メチルピペラジン-1-イル)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

3-(4-(メチルアミノ)-6-(4-メチルピペラジン-1-イル)-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-N-(2-(トリフルオロメチル)ベンジル)シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス-4-(4-(メチルアミノ)-6-[(フェニルメチル)アミノ]-2-ピリミジニル)アミノ)-N-{[2-(トリフルオロメチル)フェニル]メチル}シクロヘキサンカル

ボキシアミド；

シス - 4 - { [4 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 2 - ピリミジニル]アミノ } - N - { [2 - (トリフルオロメチル)フェニル]メチル } シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス - 4 - [(4 - (メチルアミノ) - 6 - {[(2R) - 2 - フェニルプロピル]アミノ} - 2 - ピリミジニル)アミノ] - N - { [2 - (トリフルオロメチル)フェニル]メチル } シクロヘキサンカルボキシアミド；

シス - 4 - { [4 - {[2 - (ジメチルアミノ)エチル](メチル)アミノ] - 6 - (メチルアミノ) - 2 - ピリミジニル]アミノ } - N - { [2 - (トリフルオロメチル)フェニル]メチル } シクロヘキサンカルボキシアミド；および

シス - 4 - { [2 - (メチルアミノ) - 6 - (4 - メチル - 1 - ピペラジニル) - 4 - ピリミジニル]アミノ } - N - { [2 - (トリフルオロメチル)フェニル]メチル } シクロヘキサンカルボキシアミド。

【請求項 5】

請求項 1 記載の化合物または塩および 1 種類またはそれ以上の医薬上許容される賦形剤を含む医薬組成物。

【請求項 6】

請求項 2 記載の化合物または塩および 1 種類またはそれ以上の医薬上許容される賦形剤を含む医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 3 記載の化合物または塩および 1 種類またはそれ以上の医薬上許容される賦形剤を含む医薬組成物。